

12月の絵本・おはなしだより

年長組

絵本

「わすれられないおくりもの」

スーザン・バーレイ 作／絵
小川 仁央 訳
評論社



賢くて何でも知っているアナグマは、いつもみんなから頼りにされ慕われていました。でも秋の終わり、年取ったアナグマは自分の死を悟ります。そして、ある夜長いトンネルを浮き上がるように走る夢を見ながら死にました。かけがえのない友達を失い、みんなどうしていいかわかりませんでした。

友達の素晴らしさ、生きる為の知恵や工夫を伝え合っていくことの大切さを語り、心にしみる感動を残します。



絵本

「クリスマスにはおくりもの」

五味 太郎 作／絵
絵本館

プレゼントをもらうのが当たり前になってしまったこのごろのクリスマスですが、この絵本が描いているのは「贈るたのしさ」です。

女の子からプレゼントをもらったサンタさんは喜びがなんとも新鮮で嬉しさが倍のよう！もらう喜び、贈る喜び二つの喜びを知ることができる、ほんわか優しい気分になさしてくれますよ。

年中組

絵本

「ぐりとぐらのおおそうじ」

中川 李枝子 作
山脇 百合子 絵
福音館書店



ぐりとぐらが窓を開けて朝ごはんを食べていると、家中ほこりだらけでした。大掃除と2人は張り切ります。ほうきや雑巾が使いものにならず、いいことを思いつきました。自分たちがほうきや雑巾になるのです。

布を体中に巻きつけて、おなかやおしりですべったり、足にタオルをくくりつけて歩き回ったり…
楽しく大掃除します。

絵本

「さみしがりやのサンタさん」

内田 麟太郎 作
沢田 としき 絵
岩崎書店



世界中の子どもたちにプレゼントを届けて、やっと自分の家に帰ったサンタさんは、ほろりと涙をこぼしました。プレゼントを喜ぶ子どもたちの笑顔が浮かんでくるのに、サンタさんはなんとなくさみしかったのです。好きなハーモニカも壊れていて音が出ません。そこへ大男がやって来ました。一晩、大男と過ごしたサンタさん。朝、目覚めるとプレゼントがありました。泣いていたサンタさんは、いつの間にか笑顔になりました。

年少組

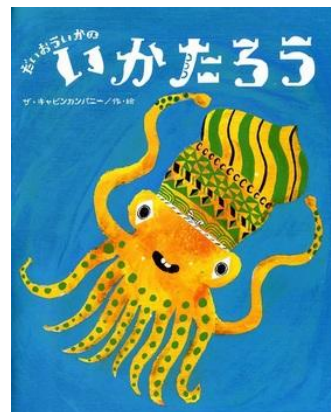
絵本

「もりのふゆじたく」

たるいし まこ 作
福音館書店



動物たちは森でせっせと木の実をひろい始めました。でも気のいいたぬきは仲間の手伝いばかり。何もひろえずに、疲れはてて家へ帰ってみると…



絵本

「だいたいおういかのいかたろう」

ザ・キャビンカンパニー 作/絵
すずき出版

湖で凍ってしまっただいたいおういかのいかたろう。偶然通りかかったゆめたくんは、いかたろうを助けようします。

いかたろうが踊るイカだんすには、ちゃんと曲もついていて楽しく踊れます。